

## “二学期終業式”

12月22日(金)に2学期の終業式を行いました。以下終業式でお話しした内容です。

おはようございます。大掃除お疲れさまでした。一年の締めくくりを迎えるために、日頃から使っている場所や道具に対して、感謝する気持ちで一生涯懸命掃除をしてくれたことと思います。「自分の心を磨く」という言葉がよく分かったという人もたくさんいると思います。

さて、9月1日から始まった79日間の2学期が終了します。この2学期はどうでしたか？成績2期制になり今日は通知表がありません。一学期もそうでしたが、今までは通知表を見せながら、学校での様子や頑張ったこと、できなかったことなどを話していたかと思います。通知表はありませんが、家の人には2学期の学校での様子を是非報告してください。また、3年生は小城中学校で生活できる期間があと三か月余りになります。それぞれの学級が、かけがえない出会いを、一生の思い出にできるように、学級目標の達成を目指して頑張ってください。

さて、令和5年がもうすぐ終わります。そして新しい令和6年が始まります。一年が過ぎるのは早いですね。また、一つ年を重ねることになります。ところで、皆さん日本人の平均寿命は何歳か知っていますか？男性が約81歳、女性が約87歳だそうです。今の皆さんは1年生が13歳、2年生が14歳、3年生が15歳の学年になるかと思います。では、3年生に例えておはなしをします。3年生の男子で約あと66年間、女子で約あと72年間の余命があります。これを長いと考えるか短いと考えるかは人それぞれだと思っています。

1日は24時間、1,440分、86,400秒

1年は365日、8,760時間、525,600分、31,536,000秒です。それをふまえて、

男性 24,090日、578,160時間、34,689,600分

女性 26,280日、630,720時間、37,843,200分の余命があります。何を言いたいかというと、このことは、すなわち時間は「命」であることが分かると思います。普段何気なく過ごしているこの時、この時間がまさしく命なわけです。命を大切にしようという言葉はよく耳にすると思いますが、命を大切にすることは時間を大切にすることだと思っています。これから17日間の冬休みに入ります。たくさん時間があると思っていますが、冬休みが終わってみれば何をしたか覚えてないという経験をしてきたかと思います。しっかりと生きた証を刻むように、1日1時間1分1秒を大切に、限りある命を有意義に大いに生かしてください。

これで終わります。よいお年をお迎えください。

## 「育友会研修部主催講演会」



12月2日(土)育友会研修部事業として、「夢の線路はどこまでも」と題して人権コンサートが開催されました。

家族や身近な人々、友人を大切にすることを醸成し、【自他を認め合う】【自分らしく歩んでいく】ことの大切さが実感できる人権コンサートとして、作曲家の「比留間 光悦」さんをお迎えして開催されました。比留間さんは歌うことが大好きで、よくお気に入りの公園でギター片手にライブをしていました。その時通りか

かった方から「あなたの歌を聴いていると元気になる」と言われ「音楽で人と人との未来を繋ぐ！」という夢ができたそうです。晴田小生徒の合作「言葉はおくりもの」を作曲し、小城市の様々な場所で生まれた曲も演奏していただきました。公演中にリズムダンスをしたり詩について語られたり、人への思いやりについて考えさせられる内容の濃いコンサートでした。研修部の皆様ありがとうございました！

「小城市じんけんふれあい講演会」  
「じんけん啓発ポスター  
・作文表彰式」



12月9日(土)にドゥイング三日月にて小城市じんけん啓発ポスター・作文の表彰式が行われました。ポスターには小城中学校から35点の応募がありました。表彰式の後には、「じんけんふれあい講演会」が開催され、元フリーアナウンサー「道志真弓」(どうし まゆみ)さんが『生きるって幸せ～弓華が残してくれた命の重さ～』と題してお話をしていただきました。道志さんは不妊治療の末、やっと授かった娘が、世界で数十例の染色体異常と診断され、8歳で他界。歩くことも話すこともできなかったけど、娘を囲んでの生活は笑顔が絶えない日々だったそうです。娘さんが道志さん家族に教えてくれたこと、そして生きるという素晴らしさなどを、道志さんの体験をもとにお話をしてくださいました。

☆人権作文表彰

3年2組 大塚楓子      3年5組 坂本蒼空  
2年5組 石隈みちか   2年2組 高木 風  
1年3組 水田結菜

☆じんけんポスター

○特選

3年5組 深川柚季

○入選

3年1組 江里口琉理    3年1組 岡 杏咲

3年1組 田井 凜

「第73回“社会を明るくする運動”  
作文発表会」

12月17日(日)に、多久市中央公民館大ホールにて、社会を明るくする運動作文発表会が開催されました。この発表会は、毎年小城・多久地区保護司会が主催している



もので、各小中学校から応募された作品を選考し、入賞者の発表会を行っておられます。今回、中学校の応募総数73点の中から、3年4組山口陽菜さんが「小城市“社会を明るくする運動”推進委員会委員長表彰を受賞されました。題名は「命の大切さ」で、内容は、なんで自分は生きているんだろうという問いかけから、世界人口78億人の中のたった一つの命ですが、その命が生きていく理由がきっとあるはずで、その理由を見つけることができれば素晴らしいことだと言っています。たった一度の人生を辛い人生にするのか、幸せな人生にするのかは自分次第だと、自分をほめてあげてほしいと結んでいました。堂々とした態度でしっかりと作文の発表をしていました。おめでとうございます。

「早寝・早起き・朝ごはんカレンダー」

原画・標語入選作品 表彰式

12月19日(火)に、ドゥイング三日月において表彰式が行われました。

☆原画の部

入選

2年5組 徳若 桜

1年5組 馬渡清里

